

平成 25 年度

---

市 政 方 針

苫 小 牧 市 長

岩 倉 博 文

# 平成25年度 市政方針 目次

《1 政治姿勢》……………	1	消防……………	16
(1)はじめに……………	1	交通安全……………	16
(2)時代認識……………	2		
(3)まちづくりの姿勢……………	3	(2)活力ある産業と賑わいのまち…	16
(4)公約について……………	4	新千歳空港……………	16
		日米共同訓練……………	16
《2 基本政策》……………	4	苫小牧港……………	17
(1)財政健全化……………	4	工業……………	17
(2)行政改革……………	5	中小企業振興……………	17
(3)市民自治の推進……………	6	苫東開発……………	18
		農業……………	18
《3 予算編成》……………	7	林業……………	18
		漁業……………	18
《4 重点施策》……………	8	商業……………	18
企業誘致……………	8	観光……………	19
景気・雇用対策……………	9		
未来へ！みなと大作戦		(3)自然と環境にやさしいまち…	19
～Gateway to the future～…	9	地球温暖化……………	19
ごみ行政……………	10	大気汚染……………	19
C A P (まちなか再生総合		アスベスト……………	20
プロジェクト)…	10	P C B……………	20
災害に備えたまちづくり……………	11		
福祉……………	11	(4)快適空間に生活するまち…	20
次世代を担う子どもたち……………	12	公園……………	20
文化・スポーツ……………	13	水道……………	20
苫小牧中央インターチェンジ…	13	下水道……………	21
		市営住宅……………	21
《5 主要施策》……………	14	道路……………	21
(1)健やかで安心・安全に		公共交通……………	21
暮らすまち……………	14		
子育て支援……………	14	(5)手をつなぎ歩む誇りが	
児童虐待への対応……………	14	持てるまち……………	22
ひとり親家庭支援……………	14	町内会館整備……………	22
高齢者福祉……………	15	男女平等参画……………	22
健康関連事業……………	15	国際交流……………	22
市立病院……………	15		
国民健康保険……………	15	《6 むすび》……………	23

国内外の情勢が目まぐるしく変化する中で、揺るぎない市政の運営を目指し、平成 25 年度のまちづくりに臨む私の所信と施策の概要を申し上げ、市民ならびに議員の皆さんのご理解とご協力を賜りますよう心からお願いいたします。

まずはじめに、先日、本市出身の選手が多数活躍したアイスホッケー女子日本代表のソチオリンピック出場が決まりました。私は、日々たゆまぬ努力を重ねて栄光への切符を掴んだチームに心から敬意を表するとともに、日本初のスポーツ都市宣言のまちから若い力が羽ばたく姿に深い感銘を受けております。今後のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 1 政治姿勢

### (1) はじめに

さて、平成 22 年 7 月に再び市長の任についてから 2 年 7 か月が経過いたしました。これまで、危機的な状況にあった財政の立て直しを図るため、指定管理者制度の導入拡大や職員数の削減などの行政改革を推し進め、歳出の抑制に努めてまいりました。一方で地域経済を支えるため、公共投資や雇用創出などに取り組み、メリハリのある市政運営に挑戦してまいりました。これらの政策判断を行うにあたり、時として苦渋の決断を下すこともありましたが、市民ならびに議員の皆

さんのご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

昨年は、本市出身の高校生であり、先の全日本卓球選手権で2冠を達成した丹羽孝希選手のロンドンオリンピック出場や、ゆるキャラグランプリでの「とまチョップ」の活躍、苫東地域で撮影された映画「のぼうの城」のヒットや、民間移譲を行った自動車運送事業の順調な滑り出し、そして、CCS（CO<sub>2</sub>の回収・貯留）実証試験の決定など、明るい話題が数多くありました。私は、これらを追い風と捉え、市政を推進する上でのエネルギーに変えて慎重かつ大胆に舵取りを行い、後世においても健やかに暮らすことのできる苫小牧づくりを推進してまいります。

## (2) 時代認識

世界経済は、ユーロ圏の債務危機の長期化に加え、中国やインドといった新興国の経済成長の減速、さらにはアメリカが抱える「財政の崖」問題など、依然として予断を許さない状況が続いております。

一方、国内経済においては、復興需要による下支えが続いているものの、デフレの長期化やいまだに厳しい雇用情勢など、長引く景気低迷から脱し得ない状況となっております。こうした中、昨年末に発足した新政権は、総事業費20兆円規模の緊急経済対策や日本銀行との緊密な連携による大胆な金融政策を軸に、スピード感を持った経済再生のシナリオを描いております。地方を取り巻く環境は刻一刻と変化し

ておりますが、迅速かつ的確に対応できるよう今後も国の動向を注視してまいります。

また、エネルギー問題につきましては、新政権における重点政策として、原子力に依存しなくてもよい経済・社会構造の確立を目指すとともに、再生可能エネルギーの最大限の導入を図ることとしております。本市においても、苫東地域にメガソーラー施設の建設が決定しており、既存の火力発電所や天然ガス田などとあわせて、我が国における重要なエネルギー供給基地として、確固たる地位を築いてまいりたいと考えております。

### **(3) まちづくりの姿勢**

本市は、今年開港 50 周年を迎え、今では北日本最大の国際拠点港湾として位置づけられている苫小牧港とともに成長を遂げてまいりました。今年度は、市民の皆さんがこれまで以上に港に親しめるよう、重点的に取り組んでまいります。

さて、私は、2 期目の目標として「財政基盤の確立、そして経済活力を起点とした活気ある苫小牧づくりへの挑戦」と発信いたしました。市民の皆さんが生き生きと働き、家族や地域住民と笑顔で暮らせるよう、安定した財政運営と雇用創出による経済の活性化に心血を注いでまいりたいと考えております。

本市の財政状況が厳しい中でも、東日本大震災を踏まえた防災対策

や社会資本整備、また、地域医療の中核を担う市立病院の経営改善など、市民の皆さんの安心・安全を何よりも優先させなければなりません。私は、山積する課題に対し、創意工夫を重ね、市民の皆さんの多様なニーズに一つでも多くお応えしてまいりたいと考えております。

#### (4) 公約について

私は、2期目の市政運営にあたり、5つの基本政策を柱とする30項目65施策の公約を掲げ、関連した施策を予算に幅広く盛り込んでまいりました。昨年6月に公約の50%が達成済みであるとお示した後も着実に進めており、残りの任期中にすべてを達成できるよう真摯に取り組んでまいります。

## 2 基本政策

次に、市政運営における基本政策について申し上げます。

#### (1) 財政健全化

財政健全化につきましては、より強固で安定した財政基盤を確立するため、新たに策定した「財政健全化計画ステップ3」に基づき進めてまいります。この計画は、経常収支比率、公債費比率、実質公債費

比率の財政指標を一定の幅で管理する「目標管理ゾーンの設定」、税収の減少や災害などの不測の事態に備える「基金の確保」、さらなる事務事業の見直しを行う「次世代に向けた財政構造の改革」を基本方針とし、行政改革プランと連携を図りながら、より一層の健全化に取り組んでまいります。

また、健全性を確保しながら、東日本大震災を踏まえた市民の安心安全対策など、新たに発生する行政需要や政策課題に対し、より柔軟に対応できる安定した財政運営を目指してまいります。

## (2) 行政改革

行政改革につきましては、見直しを行った行政改革プラン（改訂版）に基づき、窓口案内表示の改善やネーミングライツパートナーの導入のほか、はなその幼稚園の廃園やすみれ保育園の民間移譲の推進、さらに、遊休地を含めた市有財産の利活用など、サービス水準の向上と安定した財政基盤の確立に向け、積極果敢に取り組んでまいります。

指定管理者制度につきましては、指定期間の見直しを図るなど、柔軟性を持たせた制度の運用を推進するとともに、中央図書館などへの導入に向けた取組を進めてまいります。

市役所の組織体制につきましては、子ども・子育てに関する部署の統合に向けた検討を進めるほか、民間委託や事務事業の見直しなど、さらなる定員管理の適正化を図り、簡素で機能的な組織の実現を目指

してまいります。

公共施設の老朽化対策につきましては、プロジェクトチームの検討を踏まえ、各施設の課題を整理し、具体的な取組に着手してまいります。

### **(3) 市民自治の推進**

市民自治の推進につきましては、市民編集グループが進めている自治基本条例の子ども向け冊子を完成させるとともに、中学生に対する出前講座を行うなど、市民周知に努めてまいります。また、住民投票条例（仮称）につきましては、今年度中に行政素案を策定し、条例制定に向けた準備を進めてまいります。

さらに、まちかどミーティングや市政レポーター「とまレポ」を継続するなど、市民の皆さんとの情報共有に努め、いただいたご意見を可能な限りまちづくりに反映してまいります。

市民への情報発信につきましては、誰もが見やすく使いやすいホームページにリニューアルするほか、若い世代を中心に活用されているソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）による情報提供を開始し、様々な世代に対するインターネット情報の充実に努めてまいります。



### 3 予算編成

次に、予算編成について申し上げます。

今年度は、選択と集中による「政策主導型予算編成」を継続し、事業の優先順位を厳格化するなど、財源の有効活用に努めてまいりました。

長引く景気低迷の影響により、本市においても厳しい財政状況が続いておりますが、緑ヶ丘公園陸上競技場の改修、ときわスケートセンターの建設など、公共事業費の確保と雇用対策に取り組んでまいります。さらに、市民の皆さんの安心・安全にかかわる防災事業の拡充を図るなど、政策予算の一般財源として41億2千万円を確保し、早期発注事業として4億5千万円を計上いたしました。

以上の結果、今年度の当初予算は、

一般会計	72,721,000千円
特別会計	32,999,093千円
企業会計	21,184,921千円
合計	126,905,014千円

となりました。

各会計の予算案は、議案第 14 号から第 24 号であり、関連する議案は第 26 号から第 28 号、第 34 号から第 37 号、第 45 号、第 48 号および第 52 号であります。

なお、各会計予算と関連議案の詳細につきましては、予算委員会においてご説明いたします。

## 4 重点施策

次に、重点施策について申し上げます。

### < 企業誘致 >

企業誘致につきましては、北日本最大の国際拠点港湾と国際空港のダブルポートを擁する物流拠点としての優位性と、企業立地振興条例による助成制度を積極的に P R してまいります。誘致活動においてはトップセールスを主軸に据え、自動車をはじめとするものづくり産業や物流産業のほか、C C S に関連する環境・エネルギー産業など、今後成長が期待できる産業の誘致に取り組んでまいります。

また、既存の立地企業のニーズを的確に把握し、各種相談や手続きなど、ワンストップサービスによる、きめ細かなフォローアップを行い、企業への支援と信頼関係の維持に努めてまいります。

## **< 景気・雇用対策 >**

景気対策につきましては、地元企業の優先活用に配慮するほか、早期発注や分離分割発注を積極的に行い、地元経済の活性化につなげてまいります。

雇用対策につきましては、引き続き緊急雇用対策事業などを実施し、新規雇用を含めた就労機会の創出に努めてまいります。また、新卒高校生等雇用奨励金事業の継続により、若者の就職を支援してまいります。

## **< 未来へ！みなと大作戦～Gateway to the future～ >**

まちぐるみの取組である大作戦シリーズにつきましては、苫小牧港をテーマに「未来へ！みなと大作戦～Gateway to the future～」を展開してまいります。

本市発展の原動力である苫小牧港は、昭和 38 年 4 月に第一船が入港してから 50 年の節目の年を迎えます。開港からの歴史を振り返り、苫小牧港が担っている役割や機能を広く市民に知っていただくとともに、親しまれる港としての新たな魅力づくりに取り組むなど、輝かしい未来を築く契機として、さらなる発展に向け、チャレンジしてまいります。

## <ごみ行政>

ごみ行政につきましては、7月からの家庭ごみ有料化のほか、紙類の資源化をはじめとする新たな分別方法について、引き続き出前講座を開催するなど、きめ細かな市民周知に努めてまいります。

また、夜間・休日パトロールにより不法投棄の未然防止を図るとともに、「ステーションパトロール隊」や「共同住宅ごみ排出マナー改善対策協議会」を通じ、不適正排出の抑制やマナー向上を目指し、市民や企業市民と協働で取り組んでまいります。

## <CAP（まちなか再生総合プロジェクト）>

CAP（まちなか再生総合プロジェクト）につきましては、プログラム・パート1に基づき、持続可能なまちづくりのため、まちなかを将来のセーフティネットとして、暮らしやすい生活空間へと充実させる事業を展開してまいります。

今年度は、ライブラリーカフェ（仮称）の平成26年度開設に向けて設置条例を制定するなど、取組を進めてまいります。さらに、公共交通の利便性向上や市営住宅まちなか移転事業の推進など、まちなかの定住人口や交流人口の増加を目指してまいります。

「ゆるキャラグランプリ2012」で、道内1位となりました本市公式キャラクター「とまチョップ」につきましては、今年を「とまチョップ躍進の年」と位置づけ、市民に愛されるキャラクターに育てていく

とともに、積極的に各種イベントやメディアに出演させ、本市のPRや賑わいの創出につなげてまいります。

### <災害に備えたまちづくり>

災害に備えたまちづくりにつきましては、北海道が新たに作成した津波浸水予測図に基づき、市の防災対策の根幹となる「地域防災計画」の見直しを行ってまいります。

また、浸水が予測される地域におきましては、迅速かつ円滑に避難できるよう、地域の皆さんとともに地区別津波避難計画の策定作業を進めてまいります。

さらに、町内会や企業などへの出前講座や市民防災講座を開催するほか、災害時要援護者支援プランの拡大や自主防災組織リーダーの養成、防災備蓄品の整備など、地域防災力の向上に努めてまいります。

### <福 祉>

地域福祉につきましては、地域で支え合う「雪かきボランティア制度」や「ぬくもり灯油事業」を継続してまいります。

障がい者福祉につきましては、「働く幸せチャレンジ事業」を継続し、障がい者雇用の取組を強化するほか、「障害者計画」および「福祉のまちづくり推進計画」の改定や公共施設のバリアフリー化の推進など、暮らしやすい福祉のまちづくりに努めてまいります。

また、安心して授乳やおむつ交換が行える「赤ちゃんの駅」を中央図書館など5か所の公共施設に増設してまいります。

さらに、成年後見制度の啓発や本市における市民後見のあり方について検討を進めてまいります。

### <次世代を担う子どもたち>

次世代を担う子どもたちは「地域の宝」であり、輝かしい未来の希望であります。子どもたち一人ひとりの個性を生かしながら、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を育む環境の整備が重要となることから、教育委員会と連携し、教育環境の充実を図ってまいります。

学校教育につきましては、拓進小学校の開校、青翔中学校の増築のほか、啓北中学校の校舎および屋内体育館の改築設計を行ってまいります。また、災害時の避難所となる学校施設の早期耐震化に努めてまいります。さらに、指導主事とスクールソーシャルワーカーの増員を行い、いじめや不登校などの問題における相談支援体制の充実を図ってまいります。

幼児教育につきましては、平成26年3月にはなぞの幼稚園の廃園を予定しておりますことから、関係機関や私立幼稚園などと連携を強化してまいります。

青少年の健全育成につきましては、老朽化が著しい西弥生児童館と大成児童センターを廃止し、新大成児童センター（仮称）の建設に着

手してまいります。

### **<文化・スポーツ>**

文化振興につきましては、7月にオープンする苫小牧市美術博物館（仮称）において、「出光美術館所蔵品展」など、様々な企画展を開催してまいります。さらに、文化公園アートフェスティバルや青少年ミュージックキャンプ、PMF演奏会を継続するなど、文化芸術に親しむ機会の充実を図ってまいります。

スポーツ施設につきましては、緑ヶ丘公園陸上競技場の第3種公認に向けて全天候型への改修を行ってまいります。また、老朽化の著しいときわスケートセンターの建設にも着手してまいります。

### **<苫小牧中央インターチェンジ>**

苫小牧中央インターチェンジにつきましては、物流の効率化や企業立地の促進のほか、広域医療への貢献や災害時の避難経路として期待されております。フル規格インターチェンジの設置に向け、新政権の政策を注視しながら、引き続き北海道をはじめ関係機関と協議を進めてまいります。

## 5 主要施策

次に、総合計画の体系に基づく5つのまちづくりの目標に沿って、主な施策を申し上げます。

### (1) 健やかで安心・安全に暮らすまち

初めに、「健やかで安心・安全に暮らすまち」について申し上げます。

子育て支援につきましては、平成26年4月に予定している、すみれ保育園の民間移譲に向け、新施設の整備や事業者との協議を進めてまいります。また、子ども・子育て支援法に基づき、関連する事業計画の策定準備を進めてまいります。

児童虐待への対応につきましては、多様化する相談に速やかに対処するほか、関係機関との連携を一層強化し、要保護児童とその家庭を支援してまいります。また、室蘭児童相談所の分室設置に向け、引き続き関係機関に要望してまいります。

ひとり親家庭への支援につきましては、従来の母子家庭自立支援給付金事業を父子家庭にも拡大し、経済的自立を支援してまいります。



高齢者福祉につきましては、高齢者が介護ボランティア活動を行う「介護支援いきいきポイント事業」を継続するなど、高齢者福祉事業の推進と介護保険制度の適切な運用に努めてまいります。

健康関連事業につきましては、健康寿命の延伸を目的とした「健康増進計画」に基づき進めてまいります。また、保健センターを健康づくりの拠点とするため、建設に向けた協議を医師会など関係機関と進めてまいります。さらに、妊婦健康診査に対する助成事業のほか、がん検診無料クーポン券事業や各種予防接種事業などを引き続き実施してまいります。

市立病院につきましては、医師の安定的な確保に努めるほか、病棟再開に向けた看護師確保対策として、初任給の引き上げや学資金貸与制度の拡充を行い、東胆振・日高圏の中核病院としての機能向上に努めてまいります。また、医療機器の整備や医療情報システムの更新を実施し、より効率的な診療体制を構築するとともに、災害拠点病院として、防災訓練や災害派遣医療チームなどの充実を図ってまいります。

国民健康保険事業につきましては、生活習慣病予防のため、特定健診の受診率向上に取り組んでまいります。また、引き続き収納率の向上に努めてまいります。

消防につきましては、消防エリアの空白地域を解消するため、消防庁舎の適正配置を図るとともに、消防部隊を効果的に運用するための指揮隊を発足し、多様化する災害への対応力を強化してまいります。さらに、救急車の更新や救急救命士の養成、住宅用火災警報器設置の促進など、災害に強いまちづくりを進め、市民の安全確保に努めてまいります。

交通安全につきましては、交通事故撲滅を目指し、交通安全施設の効率的かつ効果的な整備を行うとともに、関係機関との連携を図りながら、交通安全教育の充実と市民意識の向上に努めてまいります。

## **(2) 活力ある産業と賑わいのまち**

次に、「活力ある産業と賑わいのまち」について申し上げます。

新千歳空港につきましては、新たな国際エアラインの就航や、格安航空会社（LCC）の参入を背景として、空港利用者が増加するなど、北海道経済の活性化に寄与しております。今後も北海道との連携を強化し、地域の皆さんとの協議を踏まえ、空港機能の拡充に努めてまいります。

在日米軍再編に伴う千歳基地での日米共同訓練につきましては、市

民周知に努め、市民の安心・安全を確保してまいります。また、再編交付金につきましては、航路下地域の振興や市民生活の向上に活用してまいります。

苫小牧港につきましては、西港区西ふ頭の耐震強化岸壁の整備事業を進めるとともに、防波堤改良や航路<sup>しゅんせつ</sup>浚渫工事などを実施してまいります。東港区におきましては、中央ふ頭国際コンテナターミナルの機能強化に向け、岸壁や道路などの改良工事を実施してまいります。

工業につきましては、ものづくりに取り組む地元企業の技術力向上を図るため、テクノセンターにおいてX線透視装置を導入するほか、技術研修会などを開催してまいります。さらに、(公財)道央産業振興財団が実施している産学官連携共同研究事業などを引き続き支援してまいります。

中小企業の振興につきましては、新たな中小企業振興条例の理念に基づき、企業に対する技術力向上への支援や融資制度の拡充などにより、経営基盤の安定や向上を図ってまいります。また、CCS実証プロジェクトや自然エネルギープロジェクトなど、様々な展開の中で地元企業が活用されるよう努めてまいります。

苫東開発につきましては、国の「苫小牧東部開発新計画の進め方について（第2期）」に基づき、既存立地分野の一層の集積や今後の成長が期待できる産業の導入を促進してまいります。また、関係機関との緊密な連携のもと、地域特性を活かした新たな産業やプロジェクトの事業展開など、今後の開発につながる取組を進めてまいります。

農業につきましては、市有放牧場の草地改良事業や優良繁殖用家畜の導入に対する助成を継続するとともに、農作物被害の防止に向け、エゾシカ対策を強化してまいります。さらに、錦岡地区にふるさと農園96区画を開設し、沼ノ端農園、ウトナイ農園とともに、市民の皆さんに提供してまいります。

林業につきましては、水資源のかん養や地球温暖化対策として、公益機能を重視した森林整備を促進するほか、国や北海道と連携しながら、森林資源の育成に努めてまいります。

漁業につきましては、マツカワ稚魚の放流など栽培漁業を推進するとともに、漁獲量日本一を誇るホッキ貝の消費拡大を図るため、さらなるPRに努めてまいります。

商業につきましては、商店街の活性化に関する条例に基づき、商店

街が実施する環境整備事業やイベント事業、商店会加入促進事業などの取組を支援するとともに、空き店舗活用事業への補助やCAPとの連携により、中心商店街の活性化を図ってまいります。また、創業セミナーなどを実施し、若手経営者の育成に努めてまいります。

観光につきましては、本市の豊富な自然や食を活かした観光キャンペーンを展開するとともに、クルーズ振興協議会を通じて、大型客船の誘致活動や歓迎体制を強化し、苫小牧港の魅力を発信するなど、道内はもとより道外からの誘客につなげてまいります。

### **(3) 自然と環境にやさしいまち**

次に、「自然と環境にやさしいまち」について申し上げます。

地球温暖化対策につきましては、住宅用太陽光発電システム設置の助成件数を拡大し、引き続き温室効果ガス排出量の削減に努めてまいります。また、新たな「第2次環境基本計画」および「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、省エネルギー推進などの環境保全施策に取り組んでまいります。

大気汚染の対応につきましては、測定局の適正配置に取り組むなど、効率的な常時監視を継続してまいります。また、工場などの発生源に

対しては、公害防止協定に基づき、適切な対応を行ってまいります。  
さらに、空間放射線量率の測定を継続し、放射性物質の監視に努めて  
まいります。

アスベスト対策につきましては、消防署住吉出張所などで煙突改修  
工事を進めるとともに、該当する公共施設の点検管理を徹底してまい  
ります。

本市が保管しているPCB（ポリ塩化ビフェニル）含有機器につ  
きましては、9月から対応が可能となる室蘭市内の施設において、段階  
的に処理をしてまいります。

#### **(4) 快適空間に生活するまち**

次に、「快適空間に生活するまち」について申し上げます。

公園につきましては、老朽化が著しいときわ町6丁目公園などにつ  
いて、安心して利用できるようリニューアル整備を行うとともに、ラ  
イフサイクルコスト縮減のため、公園長寿命化計画を策定してまいり  
ます。

水道事業につきましては、浄水施設の耐震化や老朽管の更新を行う

ほか、錦多峰浄水場における新設配水池の供用開始や、緊急貯水槽の継続的な整備により、災害に強い水道の構築を進めてまいります。

下水道事業につきましては、大規模災害に備えた施設の耐震化計画策定に着手し、維持管理体制の強化に取り組んでまいります。また、合流式下水道の緊急改善事業を進めるほか、集中豪雨対策として雨水ポンプを増設してまいります。

市営住宅につきましては、若草町で建設を進めている1棟120戸の住宅を完成させるとともに、日新団地建替事業の実施設計を行ってまいります。

幹線道路につきましては、新開町5号中通、緑町2条通線および双葉3条通線の整備を継続して進めるほか、橋梁の長寿命化対策に着手してまいります。また、生活道路では、地域要望や通学路の安全に配慮しながら、もえぎ8条線などの整備を行い、生活環境の向上に努めてまいります。

公共交通の維持・確保につきましては、利便性の向上や利用者サービスの増進を図るため、新たに設置した公共交通協議会において検討を進めてまいります。また、地域の足を守る予約運行型バスを継続し

てまいります。

#### **(5) 手をつなぎ歩む誇りが持てるまち**

最後に、「手をつなぎ歩む誇りが持てるまち」について申し上げます。

地域活動の拠点となる町内会館の整備につきましては、美原町内会館の建設、もえぎ町および宮の森町総合福祉会館の修繕に対し、助成してまいります。

男女平等参画につきましては、DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者の保護と自立をサポートする民間団体を引き続き支援してまいります。また、男女平等参画都市宣言を行い、市民意識の高揚と気運の醸成を図ってまいります。

国際交流につきましては、市民の国際理解を深める事業や在住外国人へのサポートを行ってまいります。また、友好都市締結15周年を迎える秦皇島市への中学生派遣や、姉妹都市ネーピア市訪問団の来苦が予定されておりますので、市民や民間団体による幅広い交流に発展するよう取り組んでまいります。



## 6 むすび

以上、平成 25 年度のまちづくりに臨む私の所信と施策の概要を申し上げます。

我が郷土苦小牧は、私にとってかけがえのない存在であり、そこに暮らす市民の皆さんの信託に応えるべく、確かな判断力と実行力を持って多くの困難に真正面からぶつかり、知恵を絞って乗り越えてまいります。そして、「誇れる街、苦小牧」の実現に向け邁進し、苦小牧に住んでいて良かったとだけ思っただけのよう全力で取り組んでいく所存でございます。

この決意を表す言葉として、私は今年の行動指針を「実践躬行」といたしました。本市が掲げる理念や目標に向かって職員一人ひとりが率先行動し、「チーム一丸」となって「市民のための市役所づくり」をこれまで以上に加速させてまいります。

市長として残された任期は 2 年を切りましたが、最重要課題として引き続き財政健全化に取り組むとともに、市民目線に立って血の通った市政を展開してまいります。

市民ならびに議員の皆さんのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、市政方針といたします。